

第4回 中部地域小学校統合準備会 要点記録

議 題	登下校時の児童の安全策について（現地調査を踏まえて）他
日 時	平成21年6月30日（火）午後6：30～8：10
会 場	市役所（602会議室）
出席者	事務局：教育長・教育部長・学務課長・学校適正化等担当課長、同主査 学 校：第一小校長・第三小校長・第五小校長・第八小校長 保護者：第一小（1名）・第三小（1名）・第五小（1名）・第八小（2名） 自治会：南神明山、朝日中央、（各1名） 地 域：第八小学区域住民（2名）
傍 聴 者	2名

1. 構成員の交替
2. 会議録及びホームページ掲載原稿の確認
3. 課題「登下校時の児童の安全策（第2回目）」について

事務局 通学路の安全点検等の現地確認についてご報告する。事前に移行された保護者のアンケート調査や各関係団体などの情報提供等をもとに、全体として約17カ所を实践した。

資料1「通学路における安全点検調査・集計表」による説明。

すぐに解決のできるものとできないものがあるが、教育委員会としては関係部署（都市建設部）に、統合準備会での要望事項として要請していく。

地 域 第三小・第五小方面を实践した。今回は第八小から各学校へ向かう区域であったが、他にも危険箇所は相当あると思った。今回は主に交通面の危険箇所であったが、不審者の問題など、注意点として頭に入れておいた方がよい。

事務局 不審者は「閉校後の周辺地域の治安」のテーマに挙げてよいと思う。アンケートでも通学路が暗いなど意見が出ている。

保護者 第三小のコースに参加した。これまでのルートと新しいルートが比較できる地図をいただければ論議の場に活用できる。今後の統合準備会に報告されるのか。

事務局 通学ルートの設定については学校から申請をいただき許可することになる。統合準備会での決定はしない。

保護者 決定はそれでよい。第八小には来年移る子が5人いる。今までのルートと比較できるような形で情報提供などを行っていただきたい。

事務局 現在ある第一小・第三小・第五小の通学路に第八小の調整区域が繋がらないと通学路の意味がない。

保護者 第八小の保護者、第一小・第三小・第五小の保護者には「決定した」という報告ではなく意見などを求める場を設けることを考えているのか。

事務局 最終的には学校から配る。

保護者 最終決定が学校なのは分かる。統合準備会に関係なく、意見を聞くなどの場を設けるのか。

事務局 各校長先生が統合準備会の構成員なので、統合準備会でお示しすることを考えている。

事務局 学校でも安全確認をしながら最終的に決めている。いろいろな案を出し学校にお話するが、最終的な決定は学校が行う。

保護者 決定に至るまでに、事務局の案を見せていただきたい。

事務局 第三小のルートでは3か所通った。第五小のルートでは第五小から直線に延びている道に近いが、現場を見ると畑の真ん中を通るので危険だという感想を持った。第一小に向かう道路では、神明通りを横断するのが危険で、横断の個所をどこにするかが重要なポイントになる。場所によっては朝の通学時間帯に見るよう要望があったので、そのようにしたい。

保護者 先ほどから言っているのは、決定は学校でよいから案ができた時点でその案を保護者に知らせてほしいということだ。実踏に関しては統合準備会の2名に声がかかり、第八小の移行する他の保護者には声がかかっていない。

事務局 既に移行された保護者の方が危険個所などをよく知っているという経過があった。打ち合わせのなかでも特に話は出なかった。

保護者 アンケートは現在の第八小の子どもたちより、他校に移行した子どもたちの方がよく分かっている。いろいろなデータもあるということで、移行された保護者に依頼するということであった。来年度通う5人の子たちが、実際どこが危ないか知るチャンスがない。

保護者 何十人かが移行するのであれば、こんなお粗末な対応はなかっただろうと思うと、情けないというか悲しい思いをした。実際に通う5世帯のうち低学年もいる。具体的な話が聞きたかっただろうと思うと残念だ。きちんとした説明ができる対策をとって欲しい。

自治会 統合準備会で決めて、このメンバーが歩いてみようという形であったと認識している。他のPTAや移行された関係者からも常に意見を聞いている。第八小関係者からも聞いていたので、皆さんご承知と思っていた。校長先生にも出ていただき内容はお分かりいただいたと思う。第一小に移る以前から地域の危なさを常に思っているので、現役の父母の方には声をかけさせていただいた。これからは第八小の5人の父母の方に常に声をかけてほしい。今後の課題は第三小校区・第五小校区になるPTAとも連携をとることだ。

事務局 今後、六年生を含めた在校生には連絡をする。

保護者 前回の話では、学区域は7月の教育委員会に諮り、通学路はこれからということであった。学校長により決まるまでのスケジュールを文面で分かるように教えていただきたい。

学校長 最終的には登校される家庭のこの辺りまでは通学路としてメインの道ですと、そこの集合場所・解散場所をPTAの協力をいただいて決める。枝線は保護者が指定する道になる。最終的には来年度の2月上旬には保護者とお話して通学路を決めることになる。

学校長 どこの家から通学するのかが分かれば通学路は分かる。今までも第八小通学区域の方が本校に通われている。その時点で保護者と話し生活指導支援などの協議をしながら、どの道が安全かなどを決めている。

保護者 協議して決めている経過と同じように、市の案を見せていただきたい。

事務局 学校側で個別に対応しているのに、ここで個別対応を止めるような必要があるのか。個別対応した方が保護者にとってはありがたいのではないか。

保護者 ここで決めてくださいということではない。通学路の地図や叩き台は事前に見せてもらえるのか。

事務局 個人的に見てもらうことは可能である。

保護者 第八小の5世帯に配布していただければよい。

事務局 現在の第一小・第三小・第五小の通学路を配布してほしいということか。

保護者 それぞれの学校でやり取りして決定、ということではなく実態を知りたい。

保護者 第八小から移る子には、どこが通学路になっているかが分からない。どこが通学路になっているか先ず知らせていただき、それから学校とお話をさせていただくことになる。新たな通学路ができるかもしれない。最終的なものをいただきたい。

事務局 最終的な通学路は学校でお知らせすることになる。

保護者 統合準備会として依頼はしていくが、最終的には各学校長が決めるということか。決定となる前に協議する場はあるのか。

事務局 学校と保護者が話をする。そこで保護者の皆さんと最終的に決める。

自治会 どこに希望しているかが分からないので、希望する学校と話をしてどこがいいのか、特別処置をするという話しだ。普通はオーソドックスにできている。

保護者 そのオーソドックスな道を教えていただき、今回歩いてみて、危険だからどうしようかなどのお話をした。

事務局 教育委員会でも歩いたしPTAの方も歩いた。学校にも話をする。私たちが決めるのではなく、それぞれの学校のやり方で行った方がよいのではないか。

自治会 この間見て、水溜りがある、樹が繁っている、治安上問題があるなど意見が出ている。何人も通うようならPTAとして動き、整備してもらおうという形をとるか、もう一本新しい道を通すなど、そういう話し合いはPTAにも郊

外担当があるので、そこで話をして、最善なところを選んでいく。

学校長 学校、PTAにより違いはあるかもしれないが、大きな道はできている。そこまで行くのは個人対応だが、道に出てくるまで、危険場所を相談しながらそれぞれの通学路を決めている。

事務局 現在、第八小区域からどのようなコースで各校に通学しているか、在校生にある程度の通路をお示しすればよいのではないか。

保護者 道路の部分やミラーなどは警察の管轄であり、すぐにできないことも分かるが、直せるところは早急に直していただきたい。次世代支援育成後期行動計画もこれから作成されるが、そのなかには子どもたちの道路の安全面もあるので、そのような部分も含め、教育部からも申し送りしていただきたい。

4. 新通学区域の地域説明会について

事務局 7月13日(月)7時~8時、第八小学校視聴覚室において説明会を開催する予定である。案内状は第八小通学区域に全戸配布する。この説明会后、7月の教育委員会に諮る予定である。

ご意見等

保護者 このとき通学路の調査などについて話された方がよいのではないかと思います。

5. 第2回統合準備連絡会の報告

事務局 6月19日(金)の午後7時から第八小学校にて実施した。これまでの統合準備会(第1回~3回)で協議された内容について報告した。次に第八小閉校後の新通学区域の説明を行った。また、第八小学校長からは「子どもたちにさみしい思いをさせたくない」との配慮から学校運営についてさまざまに工夫していただいているとの報告があった。

6. 各学校からの報告

学校長 特に子どもたちの変わった様子はない。子どもの方は誰が第八小からの子が分かっているとは思いますが「この子は第八小」「この子はもともと第一小」ということはなく、他にも転入生がいるので、その子たちと同じような形で一緒に活動している。特に第八小からの転入生だからといって変わりはない。元気に活動している。

学校長 転校生の保護者の方には入学説明会にも出席していただいた。特に第八小からの保護者からは普通の転入生として扱ってほしいといわれている。子どもたちのなかで「第八小の子だね」ということはない。子どもは同年代の子どもと一緒に遊ぶことが発達段階に良いのでは。第八小から転入した子も学級のなかで意見などを出し合っている。切磋琢磨しながらいろいろな面で遊びを通し、体を動かしゲームの中でいろいろなルールを学びながら育てている。

学校長 子どもたちは、第八小から来た子について表面上意識はしていない。第八小から来たお子さんが何か悩んでいるのか、心の奥底までは見えないが、カウ

ンセラーからの報告はない。第八小からの子どもも本校の子として溶け込んでいる。

学校長 2つになっているクラスを一つにまとめ一カ月になった。給食の時間には6年生が2～3人来て一緒に食べている。学校でできることはどんどんやろうと、あの手この手を尽くしている。子どもたちは、気持としては上向きになった。今までさびしかった気持が第八小にいて良かったという思いに変わればと期待している。

7. 課題の優先順位の変更について

事務局 次回は「閉校に伴う児童のメンタル面」を予定していたが、「閉校後の地域の治安」を先にしたい。メンタル面の支援は時間をかけて行いたい。スケジュールには4校連絡会があるので課題として取り上げたい。

8. その他

意見・要望

地域 第八小学校ではPTA・OBなどで毎年夏祭りを行っている。今回、正式に第八小学校があるうちに夏祭りは無くなることになる。第八小に関わった人間として、最後の夏祭りを行いたいと思っている。

事務局 財産としては4月1日以降普通財産となり、財務部管財課の所管に変わるので許可はそちらになる。そのようなご要望があるのなら、第八小学校の閉校を担当した教育委員会としてもバックアップしていきたい。

保護者 閉校条例制定の説明会のときにも卒業生からそのような話があり、市でも検討していくという話があった。前向きに検討していただきたい。

事務局 施設がある限りバックアップしていきたい。ただ都が購入した後、今のような現況が暫らく続くのであれば都に「要望は聞いてください」とお願いしていきたい。

保護者 4校連絡会はいつ開催するのか。

事務局 校長先生方と調整しながらなるべく早い時期に開催したい。

保護者 統合準備会の課題「児童のメンタル」の協議のときにその話を聞きたい。不登校など表には出てない面が不安である。大勢で行った学年と一人だけ行った学年では違うと思う。昨年度第八小学校を経験して4月に行った子たちは、前の年に行った子と違うと思う。担任や保護者から話を聞き、子どもの状態を情報として校長先生に持ってもらいたい。統合準備会で話せないことなら4校連絡会でお話しいただきたい。

保護者 4校連絡会には学童保育担当も入るのか。

事務局 学童保育担当も入る。

以上を以て閉会

次回の統合準備会は7月29日(水)、6時30分から市役所で開催を提示。